

## 第 53 回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

ゼミ名	永廣ゼミ	チーム名	チームつよし
タイトル	ベーシックインカムを日本で導入すべきか		
テーマ群	b) 財政・金融		
メンバー	竹田豪、田中結菜、年木美緒、延兼みれい、前田愛奈、成瀬琴美、村田裕香、菊田実希		
研究計画内容	<p><b>【研究背景】</b></p> <p>現時点で我々は、ベーシックインカムに対して、プラス、マイナスそれぞれ 2 つのイメージを持っている。まず、プラスのイメージについてだが、プラスのイメージ 1 つ目は、定期的にお金を支給してくれる素晴らしい仕組みだ、というイメージである。プラスのイメージ 2 つ目は、たくさん働かずに済みそう、というイメージである。一方、マイナスのイメージについてだが、マイナスのイメージ 1 つ目は、社会が今のように回らなくなりそう、というイメージである。マイナスのイメージ 2 つ目は、お金を支給し続けることは無理なのではないか、というイメージである。では実際のところどうなのかという事を調べてみようと思い、このテーマを選んだ。</p> <p><b>【研究内容】</b></p> <p>本研究では様々な国内で抱える問題やデータから、ベーシックインカムを国内で導入すべきか否かを論じていく。まずはじめに、ベーシックインカムとは何か、また実際に行われている海外での具体例を紹介する。次にベーシックインカムのメリットを社会保障制度や給与・残業問題、労働意欲などの観点から説明する。</p> <p>しかし、本研究は「導入すべき」「導入すべきではない」だけで終わるものではないため、「その結果を実現するためには何を行うべきなのか」を論じていく。ベーシックインカムには上記のメリットもあるが、多くの財源が必要であったり、労働意欲の低下が懸念されるなどのデメリットもある。そのため、問題点を補填するために給付対象や給付金額を限定するなどの具体的な解決策を提示し、ベーシックインカムと日本のより良い関係について研究していく。以上の結果を踏まえ、ベーシックインカムを導入すべきか、導入する場合はどのようにするべきかを結論づける。</p> <p><b>【期待される効果】</b></p> <p>私たちはベーシックインカムを導入すべきだと考えている。ベーシックインカムが導入されれば、1 人 1 人が豊かな人生を送れるようになるほか、少子化問題の解決にも繋がるからである。一方、ベーシックインカムの導入に立ちはだかる問題として、財源をどう確保するのかという問題点が挙げられる。これらのことから、半永久的にベーシックインカムを導入することは厳しく、限定的に導入するべきだという結論に至ると予想される。</p> <p><b>【参考文献】</b></p> <p>Fincle、「ベーシックインカム導入国の現状とメリット・デメリットとは?」、 <a href="https://fincle.jp/tax/basic-income-1">https://fincle.jp/tax/basic-income-1</a> 最終閲覧日 2023 年 10 月 17 日</p>		